

平成26年度予算見積調書

課室名：森づくり課
 担当名：木材利用推進担当
 内線：4318

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B74	埼玉の木みんなで使って豊かな暮らし応援事業・木のある生活空間づくり事業			一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	木材利用拡大対策事業費		
事業期間	平成14年度～平成30年度	根拠法令	森林・林業基本法、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律	戦略項目		分野施策	030202	収益を生み出す林業の振興		
1 事業概要 森林の循環利用の推進及び県産木材の利用拡大を図るため、住宅建築等で県産木材を選択して利用してもらうための、消費者に対する情報発信と利用奨励及び県産木材製品の供給能力強化のための総合的な対策を講じ、高齢化した人工林の循環利用を推進する。 (1) 埼玉の木みんなで使って豊かな暮らし応援事業 97,620千円 (2) 木のある生活空間づくり事業 9,780千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 埼玉の木みんなで使って豊かな暮らし応援事業 97,620千円 (ア) 「木づかい」で新しい森林造成促進事業 住宅等への県産木材の利用奨励 イ 木のある生活空間づくり事業 9,780千円 (ア) 県産木材認証事業 「さいたま県産木材認証制度」の運営 (イ) 木づかい生活推進事業 県産木材の利用拡大を図るための情報発信 (ウ) 県産木材利用推進事業 リフォーム等の県産木材利用を誘導できる技術者の育成 (エ) 木のよさ検証事業 木材の与える効果・有用性の検証 (オ) 木材生産システム検討事業 県産木材の安定的かつ高度な製品供給を図るための供給体制、利用技術の検討等 (2) 事業計画 添付資料のとおり (3) 事業効果 ・県産木材の供給量 84,000m ³ (平成24年度) 117,000m ³ (平成30年度) 安心・安全な県産木材の住宅等への利用拡大が図られるとともに、供給体制が整備されることで、人工林の循環利用による活力ある「緑」が再生される。また、二酸化炭素の吸収・固定機能など森林の公益的機能の高度な発揮によって、安心・安全な生活の維持・増進にも寄与する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ・木材及び設計・建築関係者と連携し、県産木材を利用した住宅の提案、普及を図る。 ・産官学の連携による調査の実施及び実地検証を実施する。						
2 事業主体及び負担区分 添付資料のとおり										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×7.7人=73,150千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
決定額	107,400	国庫支出金	繰入金							
前年額	3,202	225	97,620					9,555	104,198	
		225						2,977		